

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 スマイル・1 放課後等デイサービス 陽だまり		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化されず充実している。	常勤・非常勤問わず日替わりで担当を決めて、集団活動の立案などを行うことにより様々な遊びや体験ができる。	課外活動の中でも、子どもたちが多様な体験を重ねながら成長出来るよう、幅広いプログラムを用意していきたい。
2	個々の特性に応じて、必要なら個別・集団など随時対応している。	お子様の特性や成長に合わせて、支援内容を随時変更。個々に合わせた視覚支援なども盛り込んでいる。 その上で、余暇活動ではできるだけ児童ひとりひとりが好きな事に集中して取り組む時間や他の児童と関わるようにしている。	ご要望に沿って、課題に楽しんで取り組み、習得して成功体験から自信を持って、他者と関われるように支援方法を学び、状況や成長に併せて、随時変更していけるように支援者も成長する為の学びを深めていく。お子様と共に、保護者の不安や、困り感に気づきやすい環境を作っていく
3	教育を学ぶ学生や地域の活動に参加したり、他事業所との合同活動やイベントにも参加できる。	以前より実施している学生さんたちの関りだけでなく事業所共同での運動会やマルシェなどでの交流も増えています。地域のイベントにも多数参加しています。就労に向けた施設見学などもご協力いただいています。	今後も、「社会とつながる支援」を大切に地域の行事などに参加していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校との連携について。	学校と事業所との関わりが少なく学校へのお迎え時の情報交換のみとなっている。	相談支援員などを通じて、担当者会議度の開催を依頼していく。
2	防災訓練やマニュアル、日々の活動の詳細が保護者様に十分に伝えきれていない。	現在は、インスタグラムやホームページにて周知を行っています。	情報発信のタイミングやツールを工夫し活動内容や安全管理の「見える化」に努めます。
3	配置基準に則った人員以上の配置はできているが、人員に余裕はないため、イレギュラーな事態が起こったときの対応に追われてしまうことがある。	男性スタッフの不在や新規職員などが増えたなどの経験値の差などが課題となると思われます。	内部・外部関わらず研修を通して専門知識や支援の向上に努めます。